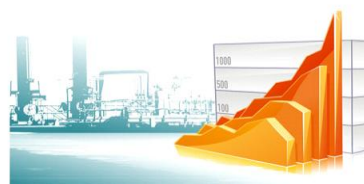


ぎふ経済レポート



令和7年6月分
岐阜県商工労働部

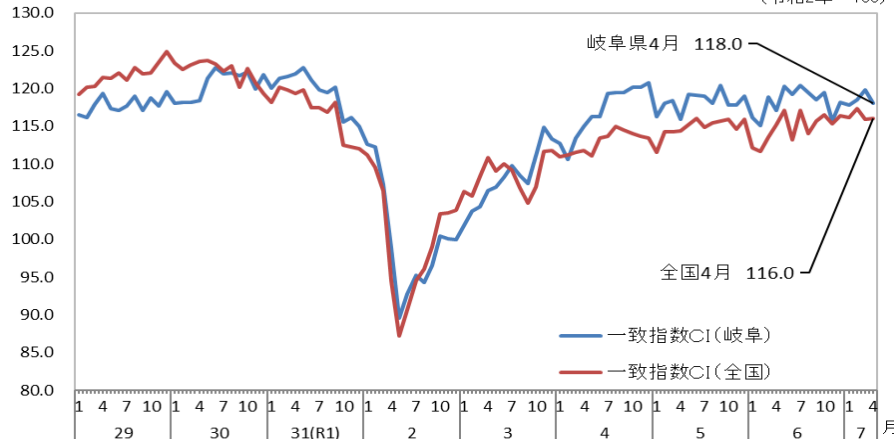
※企業等へのヒアリングは6月24日～26日を中心に実施し、7月28日時点で作成。

景気動向

○4月の景気動向指数（一致指数）は、118.0
で前月比▲1.9ポイントとなった。
○5月の県内中小企業の景況感は、▲22.0で
前月比1.0ポイント上昇となった。

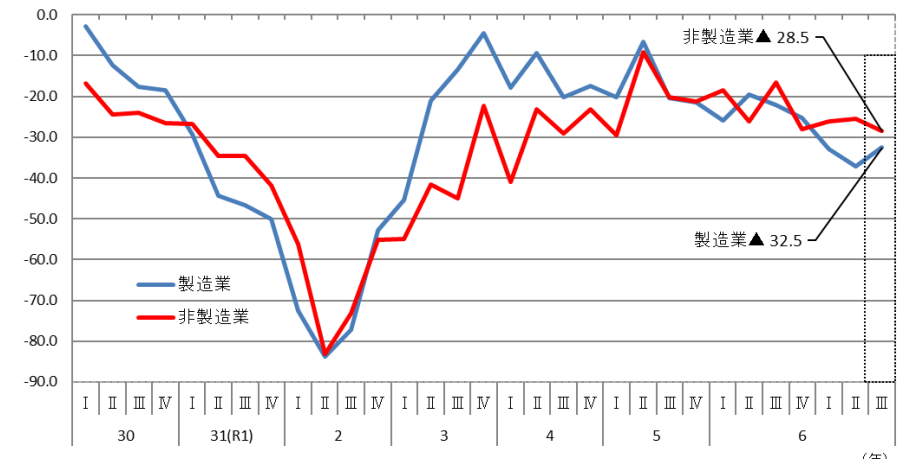
○7－9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
4.7ポイント上昇、非製造業で同▲3.1ポイント
となった。売上高DI見通しは、製造業で前期比
▲6.3ポイント、非製造業で同▲10.3ポイント
となった。

岐阜県及び全国の景気動向指数（一致指数）の推移（令和2年＝100）



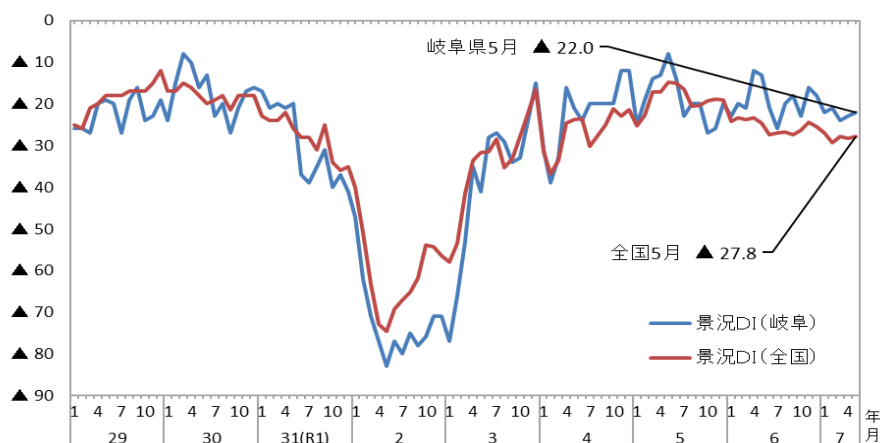
資料：県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加－減少)の推移



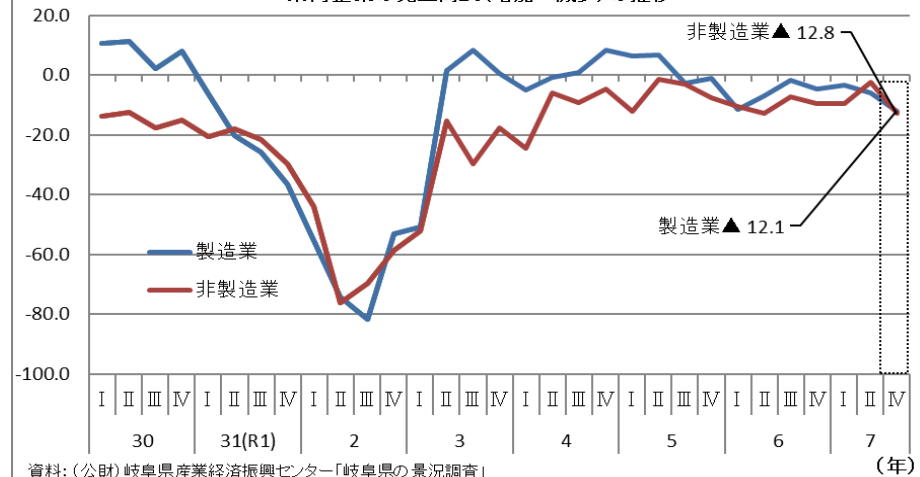
資料：（公財）岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI（好転－悪化）の推移



資料：岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移



資料：（公財）岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

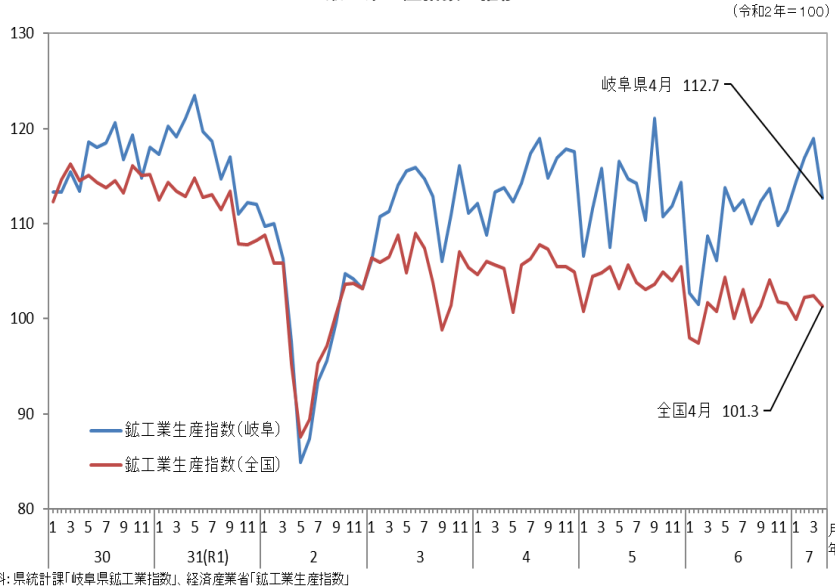
製造業

○4月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)
は、112.7で前月比▲5.2%と5ヶ月ぶりに
前年同月を下回った。

○4月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)
は、101.3で前月比▲1.1%と3ヶ月ぶりに
前年同月を下回った。

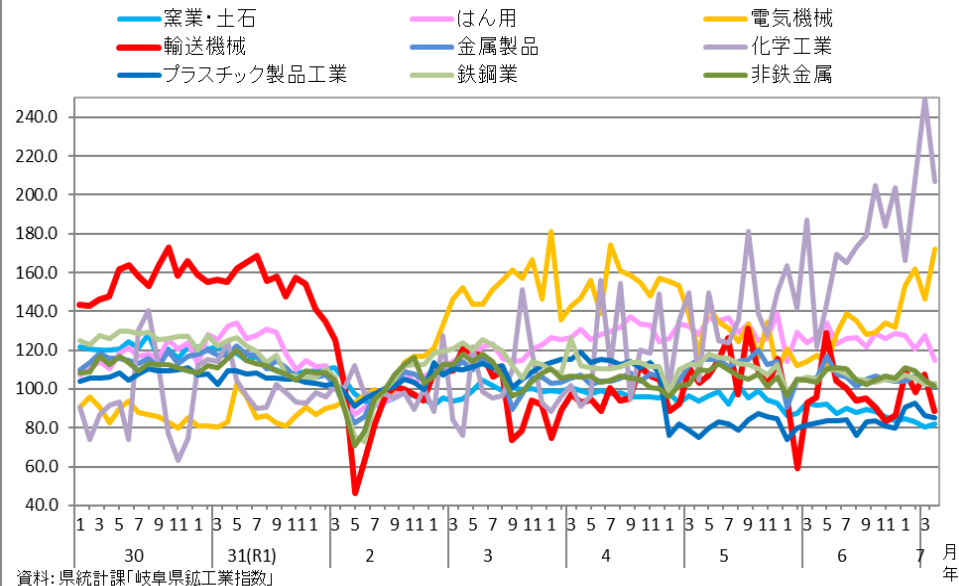
○4月の主な産業の指数は、電気機械で前月比
17.6%、窯業・土石で同2.2%、鉄鋼業で同
0.2%上昇となった。一方で、輸送機械で▲17.4%、
化学工業で同▲17.1%、はん用で同▲10.2%、
金属製品で同▲3.6%、非鉄金属で同▲2.9%、プ
ラスチック製品で同▲5.9%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

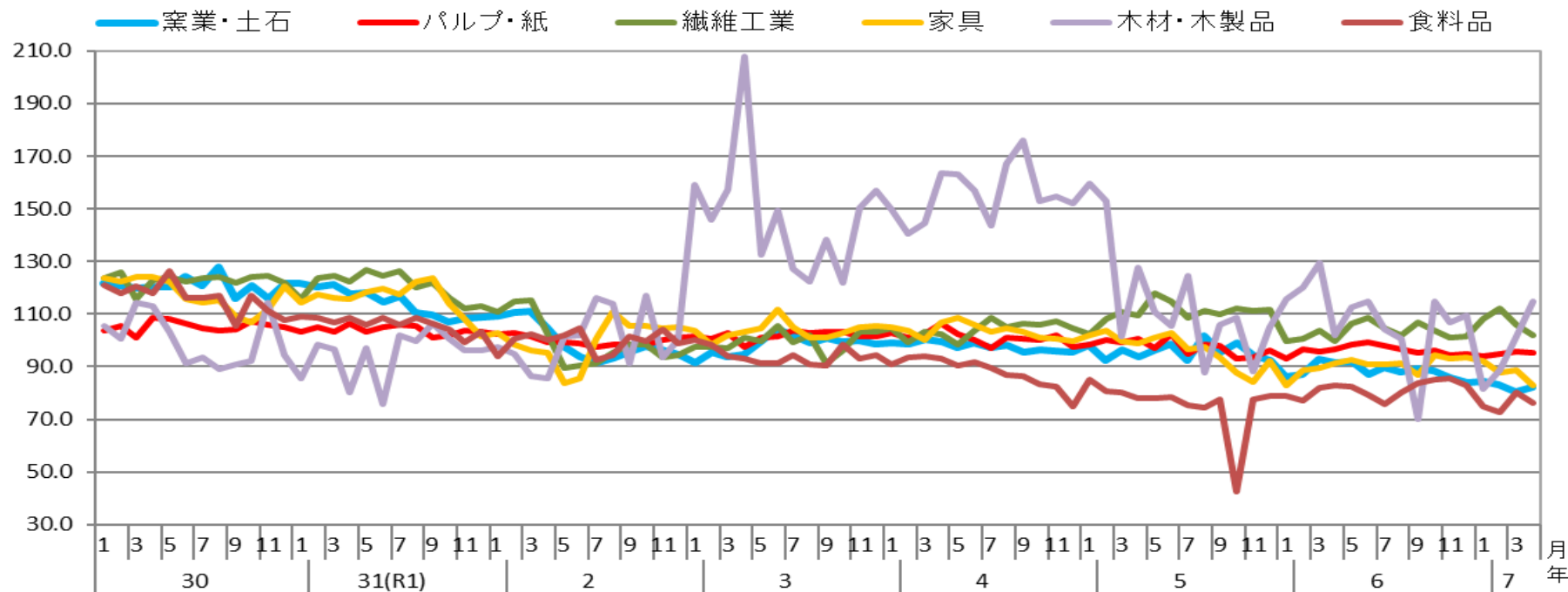
- ◆ 向こう3ヶ月は堅調な受注状況のため、前年比で10%程度の売上増加を見込んでいる。(輸送用機械器具)
- ◆ 自動車業界の見通しは依然厳しいが、一方でEV関連の新規案件の提案も受けており、現状を打破しようとする動きも出てきている。(輸送用機械器具)
- ◆ 工作機械に関して「半導体需要が一段落」「ロボットも想定ほど需要がない」ことが原因で、今期決算は目標の7割ほどに留まった。(電気機械器具)
- ◆ 業況はおおむね横ばいだが、国内向けの自動車関連は少し伸びている。(非鉄金属)

製造業－2

○4月の地場産業（刃物を除く）の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比13.2%、窯業・土石で同2.2%上昇した一方で、家具で同▲6.4%、食料品で同▲5.1%、繊維工業で同▲3.7%、パルプ・紙で同▲0.5%となった。

地場産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 物価高の影響を受けた衣料品の買い控えのため、特にファッション衣料の受注・生産が停滞している。(繊維・アパレル)
- ◆ 物価高により企業側に陶磁器を景品として準備できるだけの余裕がなくなっていることから、景品向けの消費は落ち込んでいる。(陶磁器)
- ◆ 業界の景況感は二極化しているが、どちらかと言えば悪い方が多い印象。(紙)

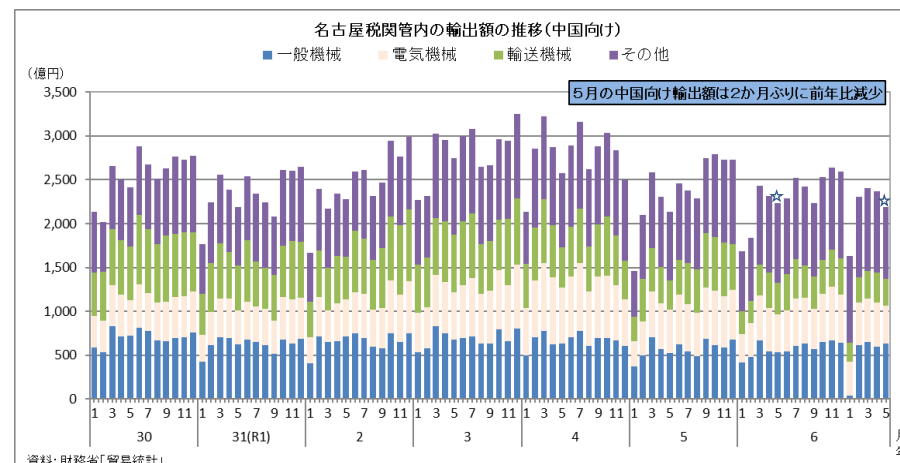
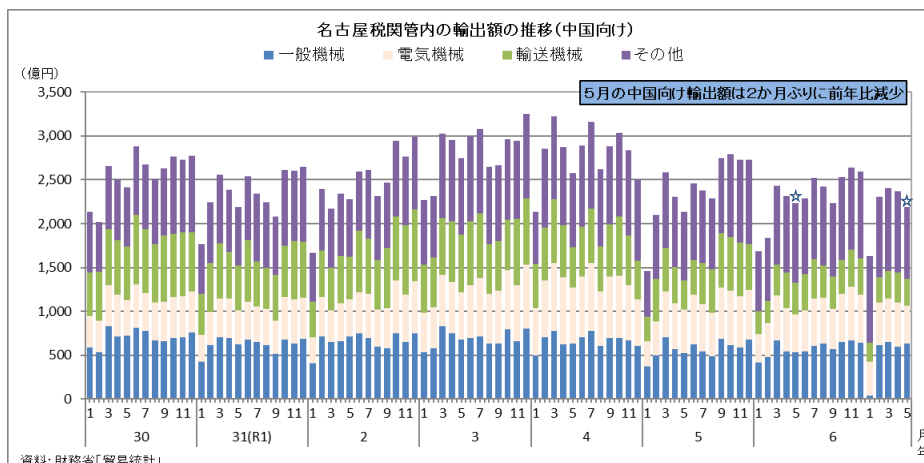
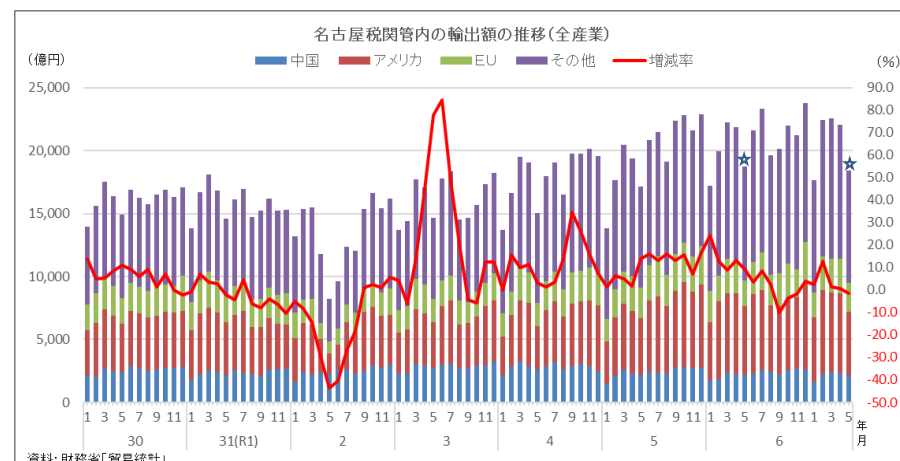
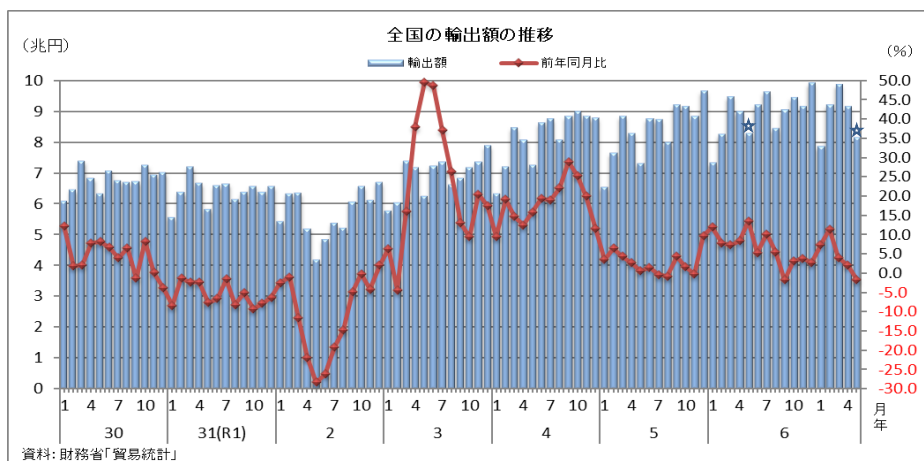
輸 出(名古屋税関管内)

○5月の輸出額(全国)は、8兆1,345億円で前年同月▲1.7%となった。

○5月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆8,445億円で前年同月比▲1.4%となり、6ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

○中国向けは、全体で前年同月比▲2.1%となった。その内、一般機械で同18.0%、電気機械で同1.4%増加した一方で、輸送機械で同▲15.7%となった。

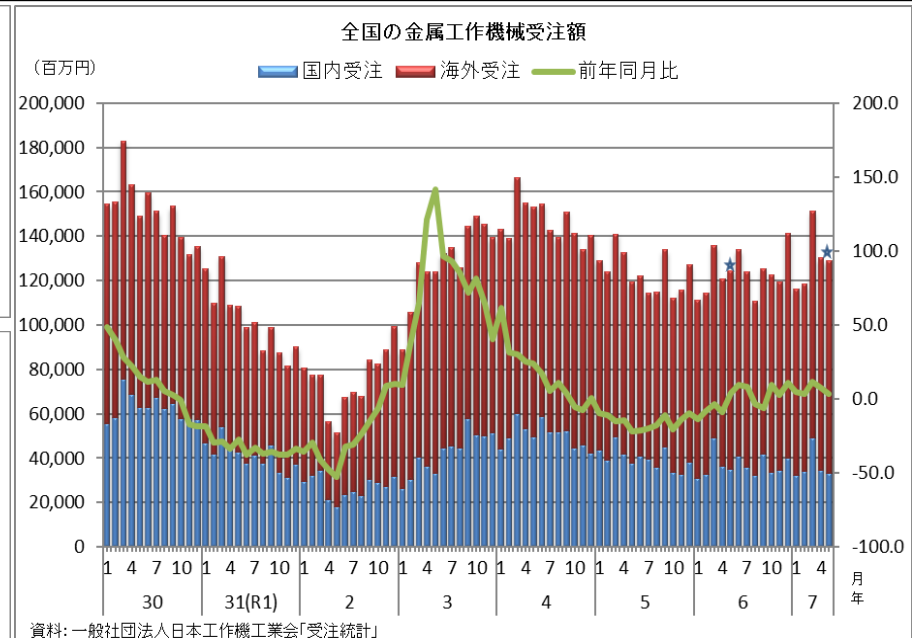
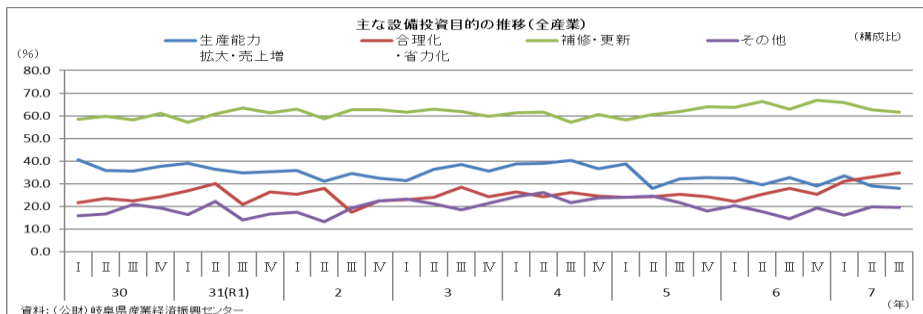
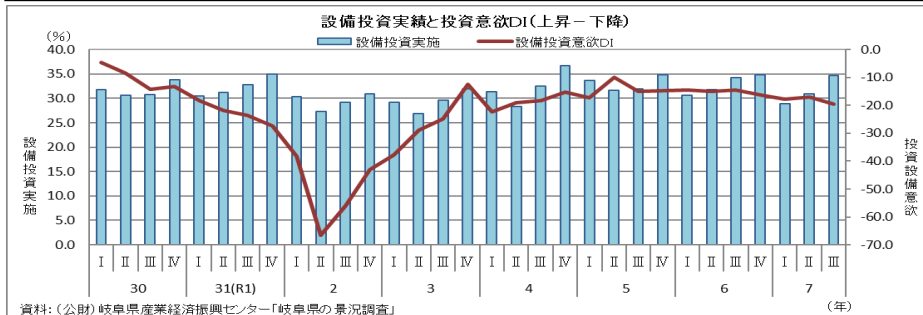
○アメリカ向けは、全体で前年同月比▲6.9%となった。その内、一般機械で同2.4%増加した一方で、輸送機械で同▲11.6%、電気機械で同▲8.9%となった。



設備投資

○7－9月期の設備投資実施見通しは前期比3.8ポイント上昇、設備投資意欲DI見通しは同▲2.5ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「合理化・省力化」で前期比1.7ポイント上昇した一方で、「生産能力拡大・売上増」で同▲1.2ポイント、「補修・更新」で同▲1.0ポイントとなった。

○5月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比3.4%増加と8ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同6.7%増加と8ヶ月連続で前年同月を上回り、国内受注は同▲5.2%となった。



現場の動き

- ◆ 設備の定期的な更新の中で、省力化や業務効率化のための設備導入を伴う案件も見られる。(金融機関)
- ◆ 現状では、計画どおり省人化・無人化のために高額な設備を導入しても投資を回収できるだけの受注がないため、導入する設備のランクを下げる等、計画を再検討していかなければならない。(輸送用機械)
- ◆ 仕事は増えていないため大きな設備投資はなく、年度計画に沿い機械設備の一部を更新する。(輸送用機械)
- ◆ コロナの運転資金の返済があるので、雇用や設備への投資に躊躇している。(紙)

為替・原油・原材料価格の動向に伴う経済変動の影響について

- ◆ 直近の材料価格については、下げ基調から横ばいに変化してきた。(輸送用機械器具)
- ◆ 直近の為替相場や材料費については想定内に落ち着いている。(生産用機械)
- ◆ 最近では原材料費や燃料費だけでなく人件費の増加が大きい。外注を行うたびに人件費の単価が上がっており、価格転嫁が追い付かない。(刃物)
- ◆ 原材料費だけでなく、材料を採取、運搬するための燃料費、人件費も高騰しており、価格転嫁せざるを得ない状況にある。(陶磁器)

米国による関税措置について

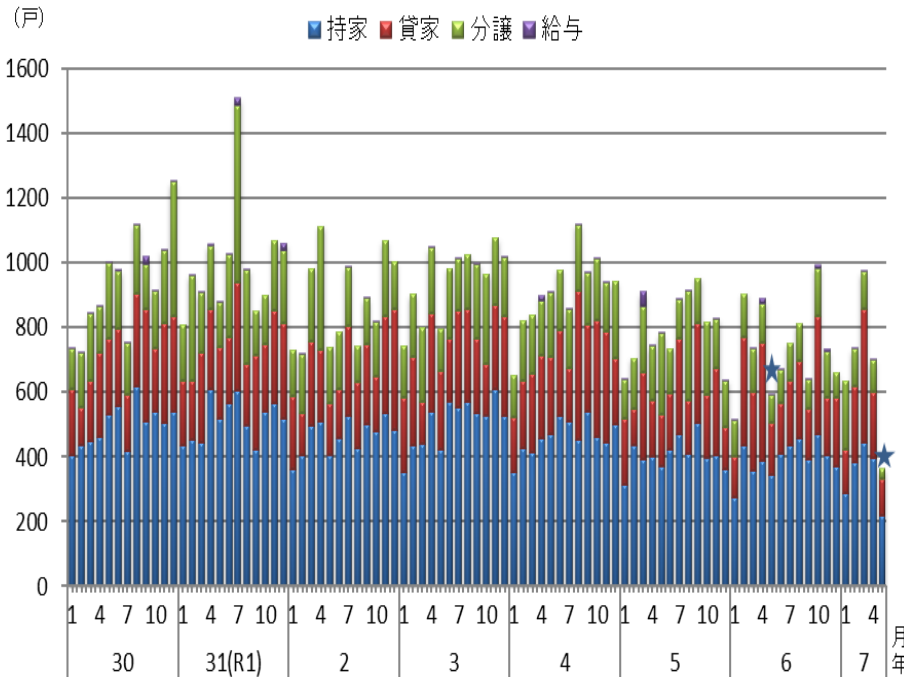
- ◆ 関税に絡む増額分を製造会社で肩代わりするか、もしくはアジア向け製品に上乗せする形となる可能性もあるため、今後の情勢を注視する必要がある。(輸送用機械器具)
- ◆ 今のところ大きな影響は出ていないが、北米に納品している小型部品について、いつから影響が出るか注視している。(輸送用機械器具)
- ◆ 米国関税措置が影響、取引先の事業計画が消極的だったり不安定。自然とこちらの需要も伸び悩んでいる。(電気機械器具)
- ◆ 関税が上がるとアメリカ国内で価格競争力が低下し、輸出減少、売上減少につながる恐れがある。(生産用機械器具)
- ◆ 輸出はしているが、間に商社を挟んでいるため、まだ具体的にどのような影響があるかは見えない。(刃物)

住宅・建築投資

○分譲で前年同月比▲61.2%、持家で同▲37.7%、貸家で同▲28.1%となった。

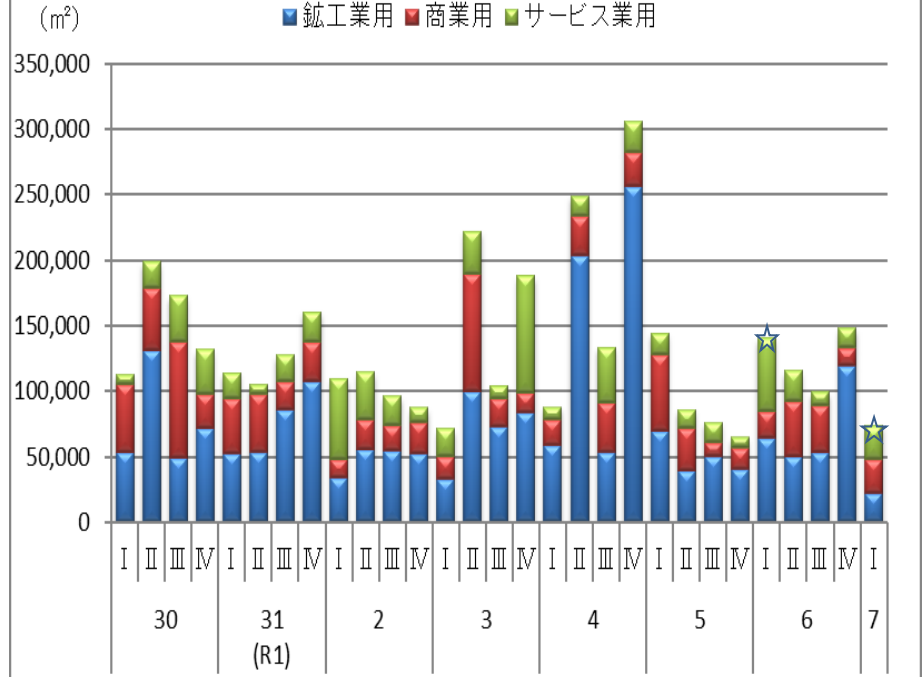
○1－3月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同期比29.6%上昇した一方で、鉱工業用で同▲65.2%、サービス業用で同▲54.1%となり、全体で同▲47.2%となった。

新設住宅着工戸数の推移



資料: 県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



資料: 県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

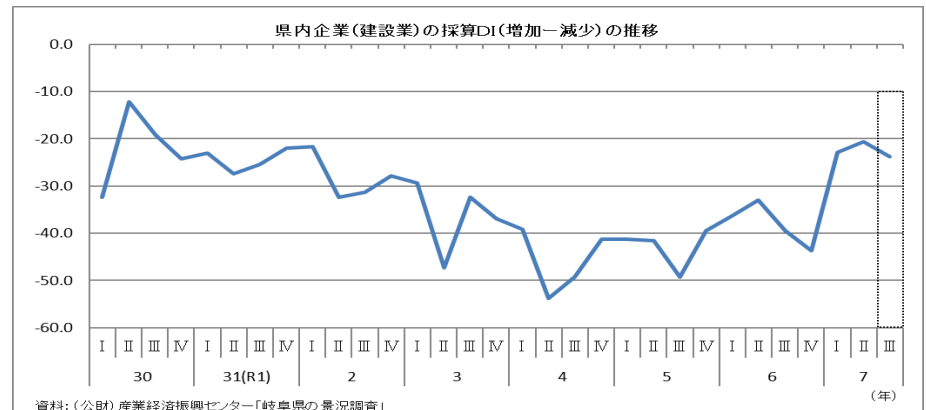
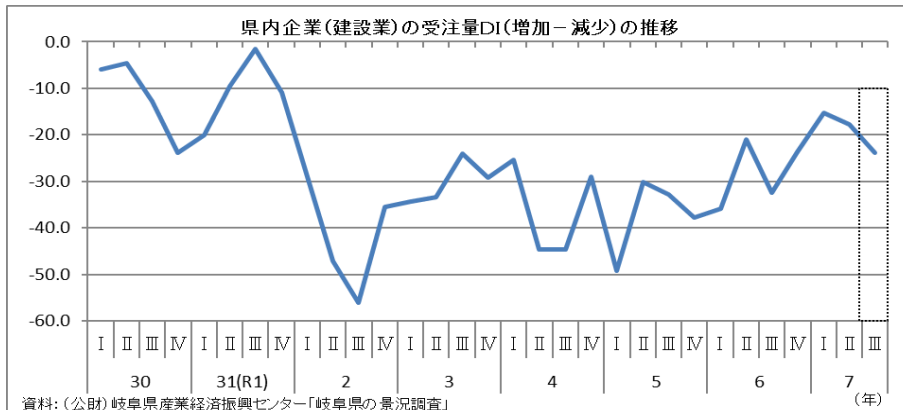
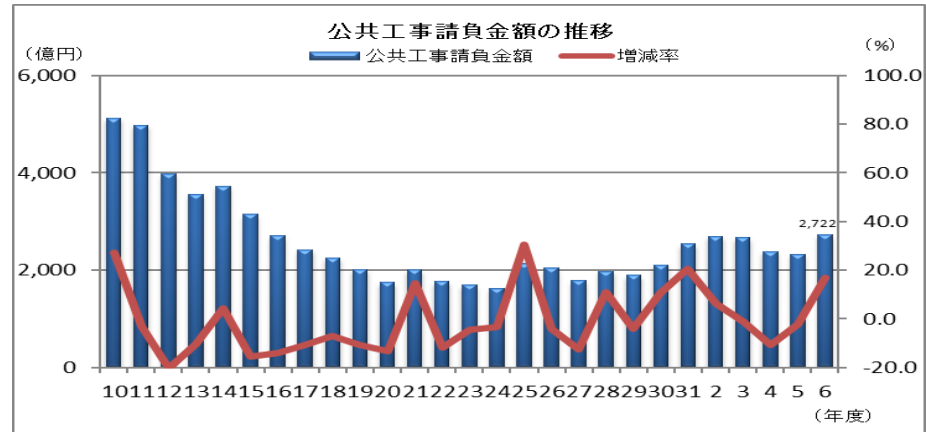
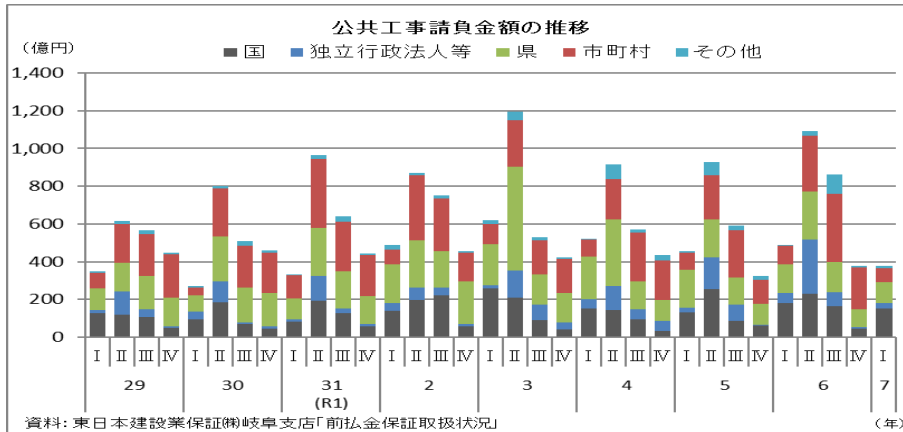
(年)

現場の動き

- ◆ 物価上昇により、顧客はローコスト住宅、建売住宅、中古住宅に流れており、受注の見通しは厳しい。(住宅)
- ◆ 現在は住宅着工が遅延していると聞いているが、原木需要に変化はないと感じている。(卸売)
- ◆ 為替の影響で木材輸入業者が輸入を減らし、国内在庫が少なくなってきたため、外材が値上がりしている。(卸売)
- ◆ C,D材は引き続き需要が旺盛な状況が続いている。(卸売)

建設工事

- 1－3月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比▲43.1%、県で同▲28.8%、国で同▲16.0%となり、全体で同20.5%増加となった。
- 県内建設業の7－9月期の受注量DI見通しは前期比▲6.1ポイントとなり、同採算DI見通しは同▲3.1ポイントとなった。



現場の動き

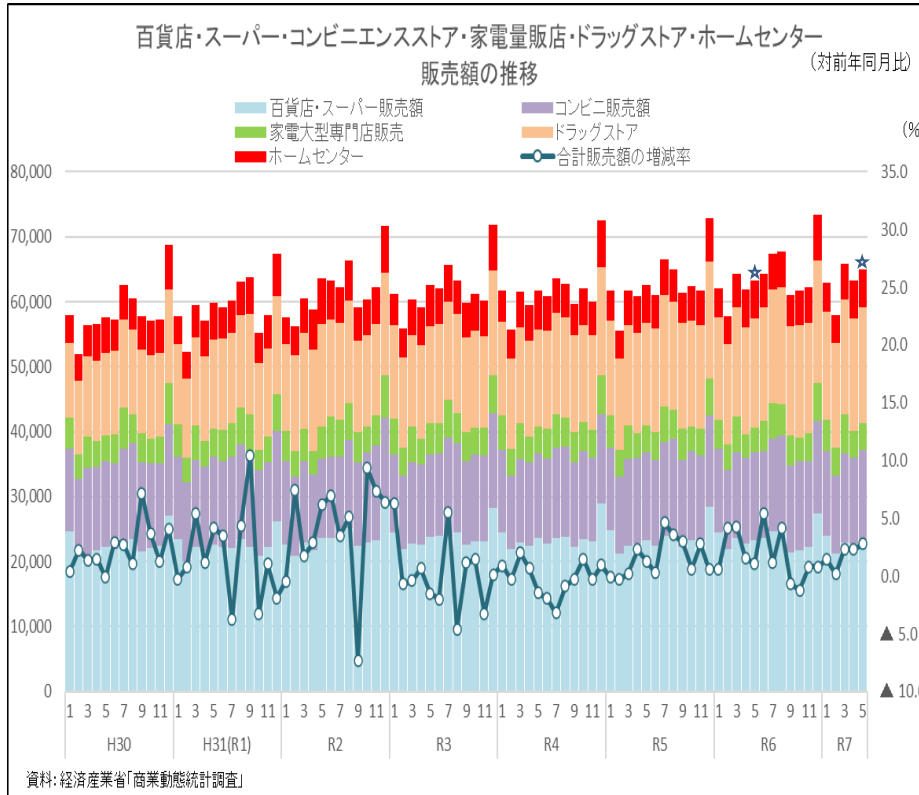
- ◆ 今期は繰越工事が少なく、4～7月は社員の待機が多い状況にあったが、下半期は不足する予定。
- ◆ 材料単価の格差は縮まっておらず積算単価が市場単価に追いついていない状況が続いている。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○5月は家電大型専門店で前年同月比11.6%、ドラッグストアで同5.1%、コンビニで同2.1%、ホームセンターで同1.7%、百貨店・スーパーで同0.3%上昇となり、全体で同2.8%上昇となった。

○5月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比1.8%上昇と5ヶ月連続で前年同月を上回った。軽自動車は同4.6%上昇と5ヶ月連続で前年同月を上回った。合算では同2.7%上昇と、前年同月を5ヶ月連続で上回った。



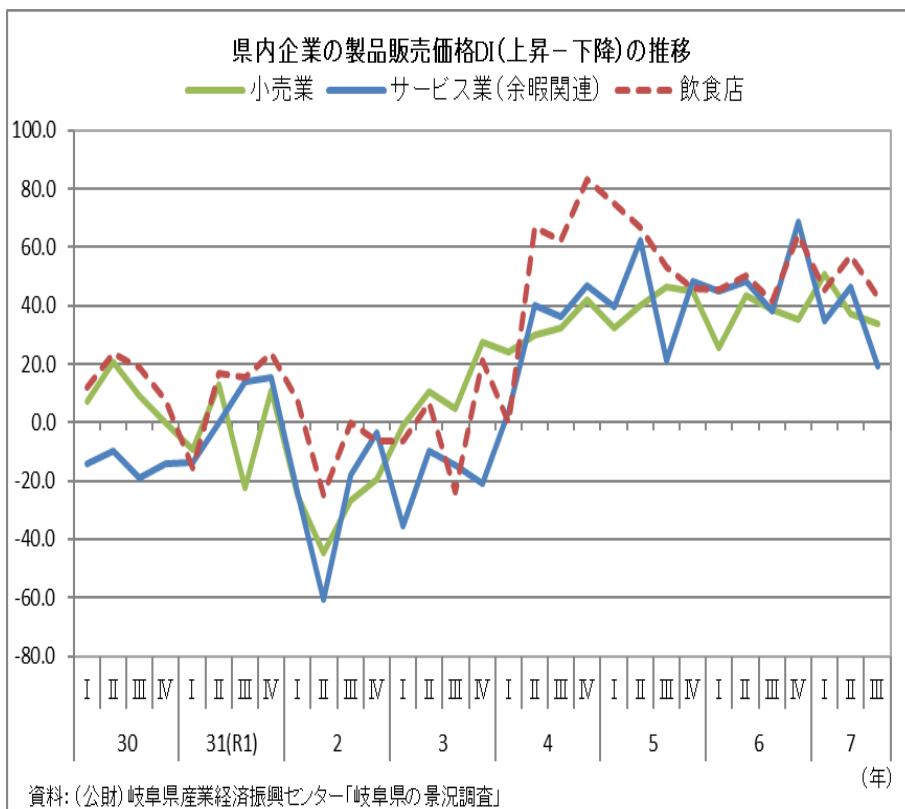
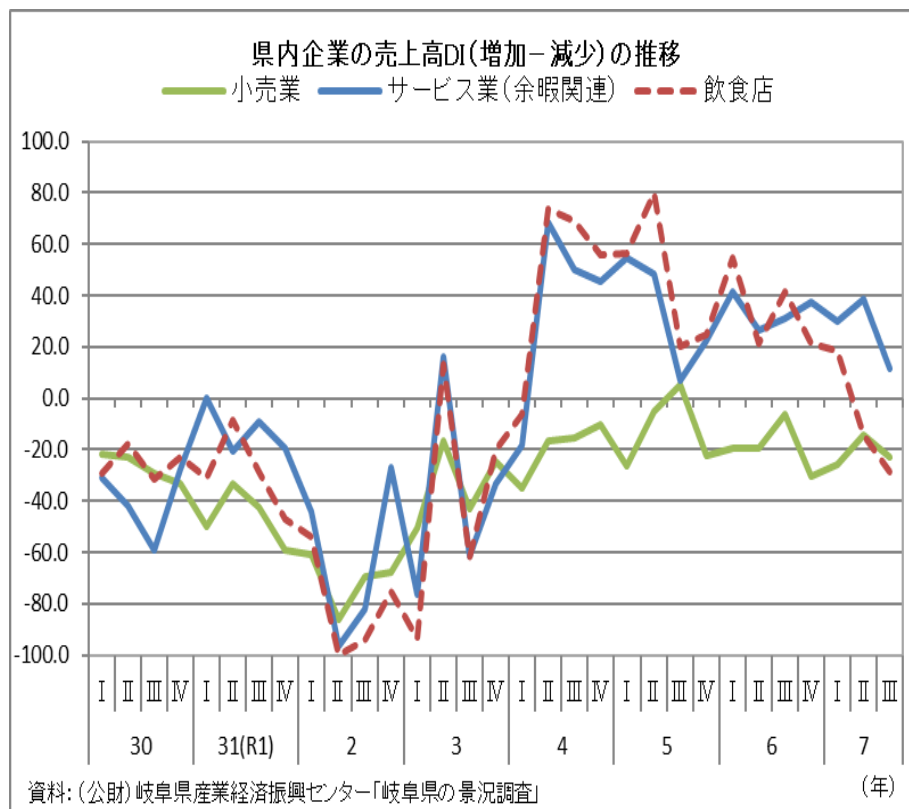
現場の動き

- ◆ 生鮮食料品スーパー、物販、飲食部門ともに好調。
- ◆ 気温変化による好影響を受けつつ、全館で販促イベントを重ね掛けして実施したことで売上・客数を大幅に伸長できた。(以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲27.0ポイント、飲食店で同14.3ポイント、小売業で同▲8.6ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲27.0ポイント、飲食店で同▲14.2ポイント、小売業で同▲3.5ポイントとなった。



現場の動き

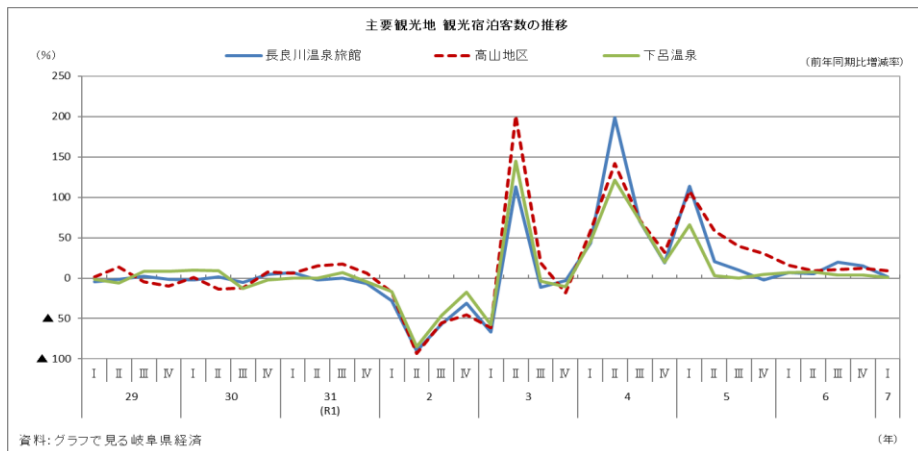
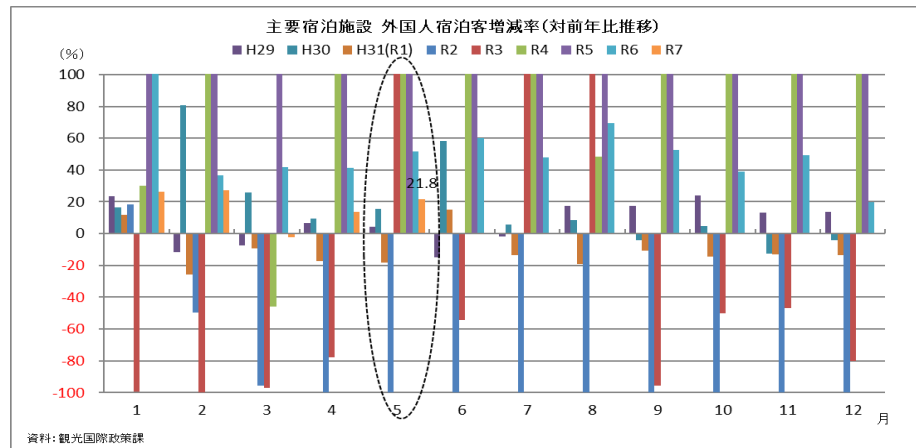
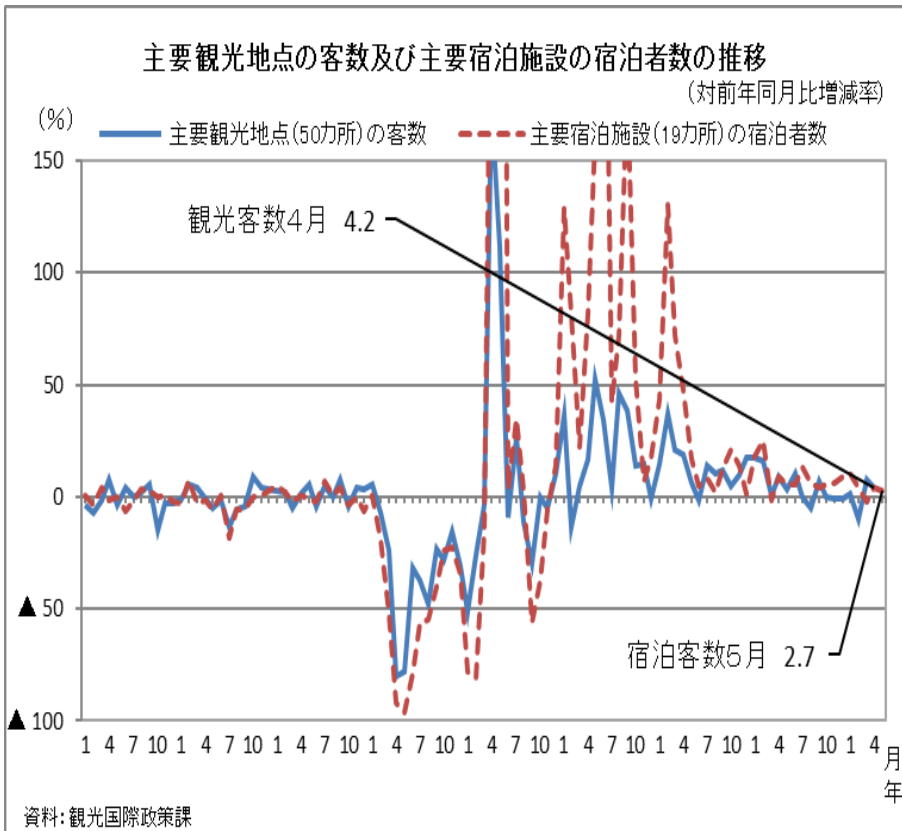
- ◆ 米をはじめ、食品や家庭用品の値上げで消費者マインドが引き続き冷え込んでおり、値段を見て断念するなど悪影響が出ている。(大垣市商店街)
- ◆ 6月は観光客も減少、売上も減少している。天候の影響を受ける可能性もあり、在庫は減らしている。(高山市商店街)

観光

○主要宿泊施設における5月の宿泊者数は、前年同月比2.7%増、令和元年同月比では、0.9%減となっている。

※主要観光地における5月の観光客数については、集計中。

○5月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、35.8%増となっている。

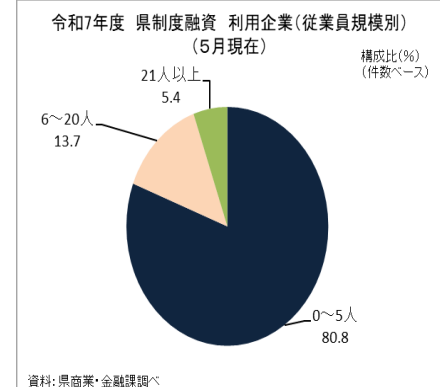
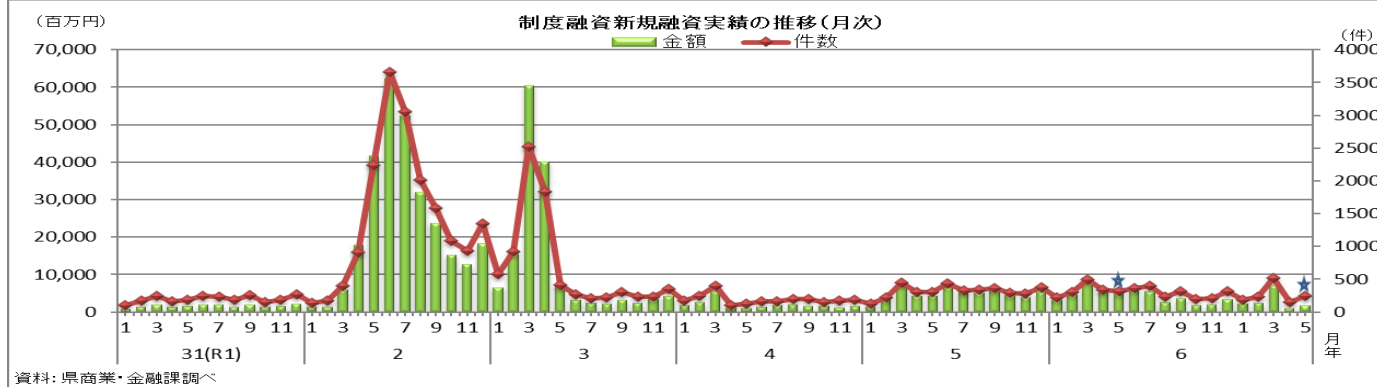
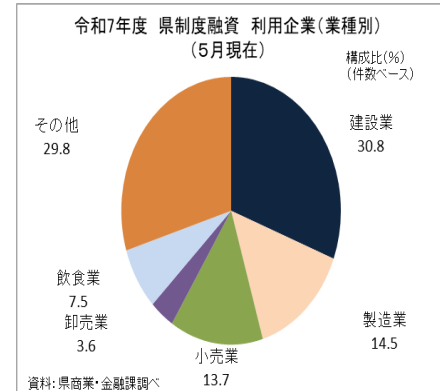
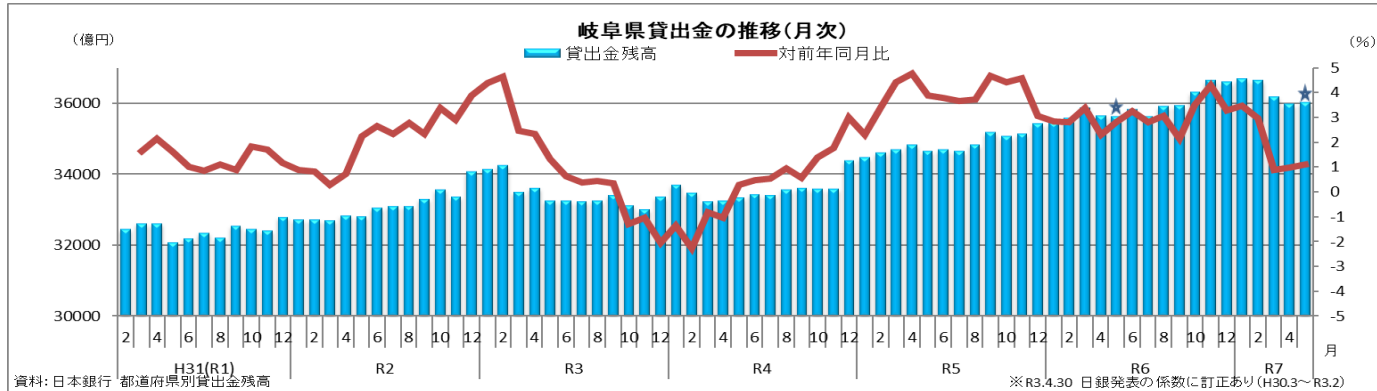


現場の動き

- ◆インバウンドが増加傾向。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆国内客は下降傾向。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(岐阜市、高山市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 5月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,008億円で前年同月比1.1%増加し、37ヶ月連続で増加。
- 5月の制度融資実績は、金額が1,879百万円で前年同月比▲60.9%と10カ月連続で減少、件数は242件で同▲22.9%となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の80.8%を占めている。



現場の動き

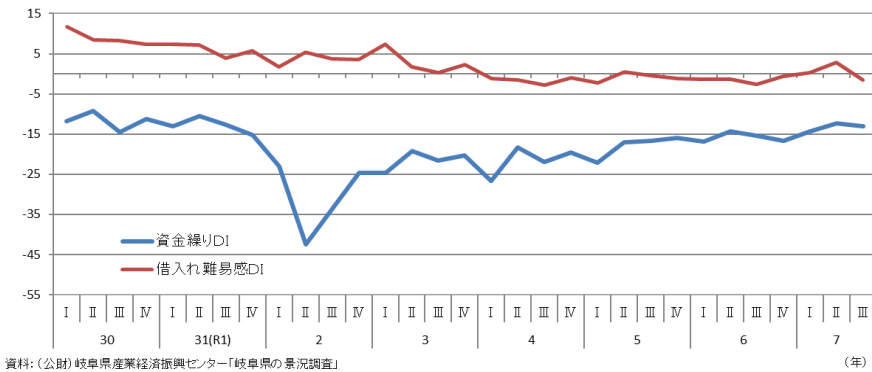
- ◆ 資金需要は特段大きな動きはない。運転・設備資金ともに底堅く例年通り。
- ◆ 金利は上昇傾向にあるが、現時点で利上げは様子見の状況。7月の参議院選挙や米国関税措置等社会の動向に注視しつつ今後の対応を検討する。

(以上、金融機関)

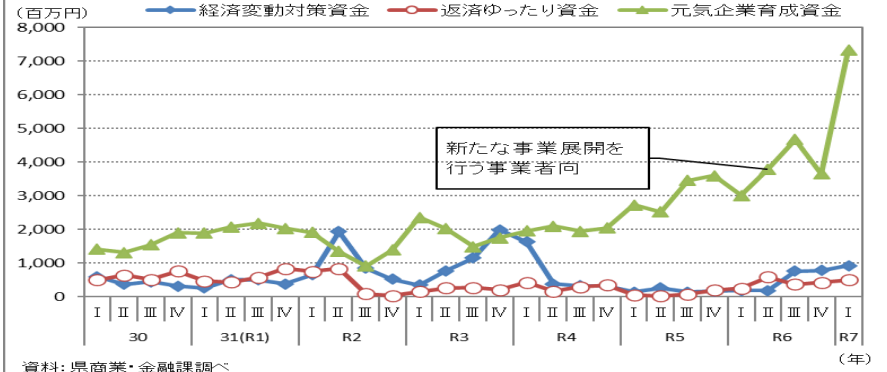
資金繰りー2

- 7－9月期の資金繰りDI見通しは▲13. 0で、前期比▲0. 7ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲1. 6で、前期比▲4. 4ポイントとなった。
- 1－3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比390. 2%、返済ゆったり資金で同101. 6%増加した。元気企業育成資金では同143. 7%増加と12期連続で増加した。
- 5月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が7件で前年同月比▲87. 3%、金額182百万円で同▲86. 9%となった。
- 5月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は54件で前年同月比▲39. 3%、金額は456百万円で同▲41. 7%となった。

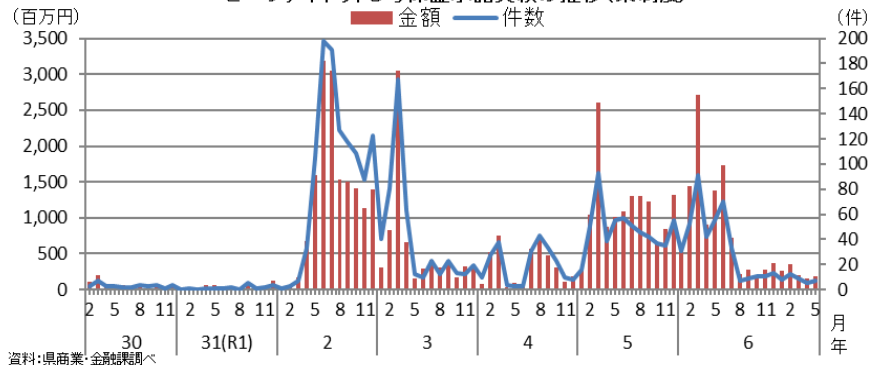
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



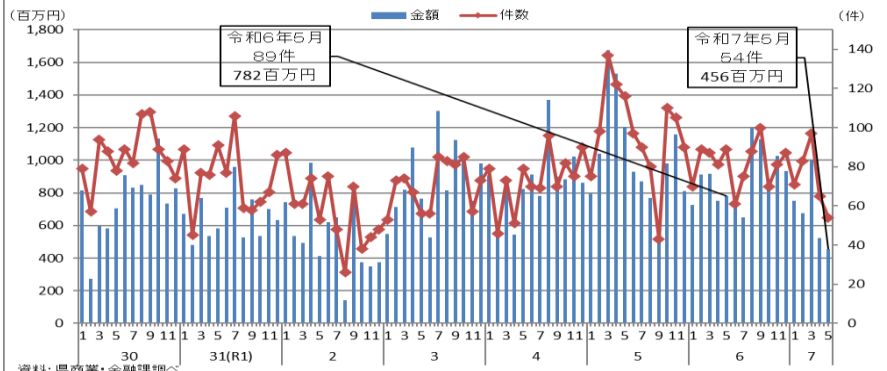
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

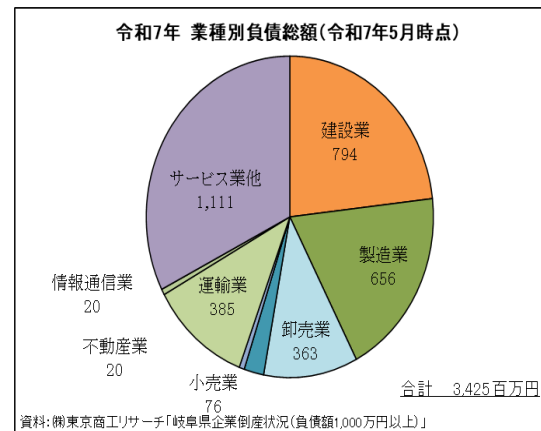
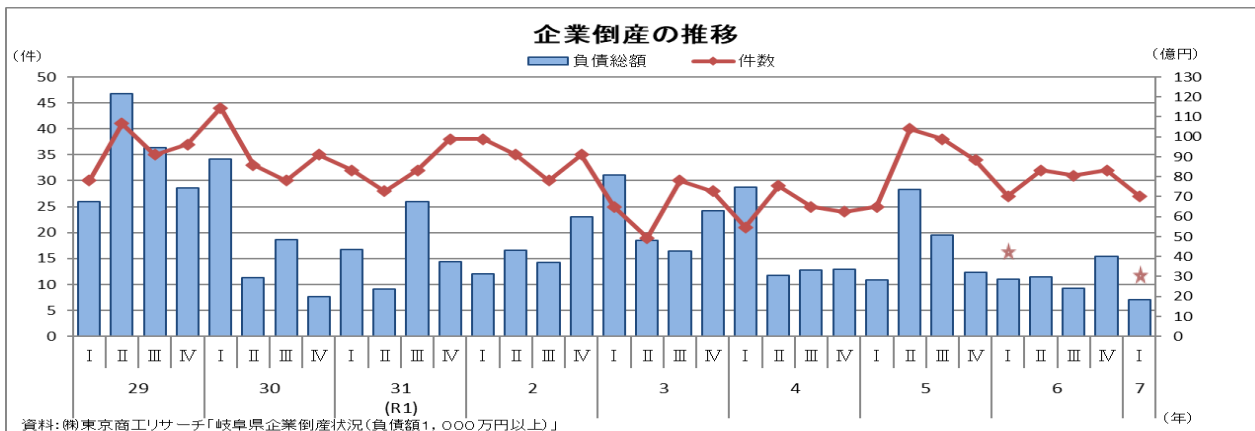
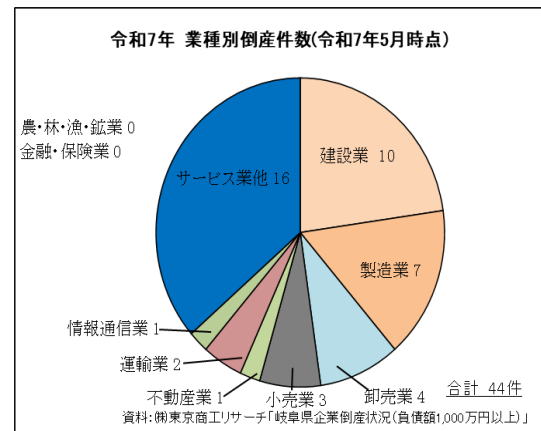
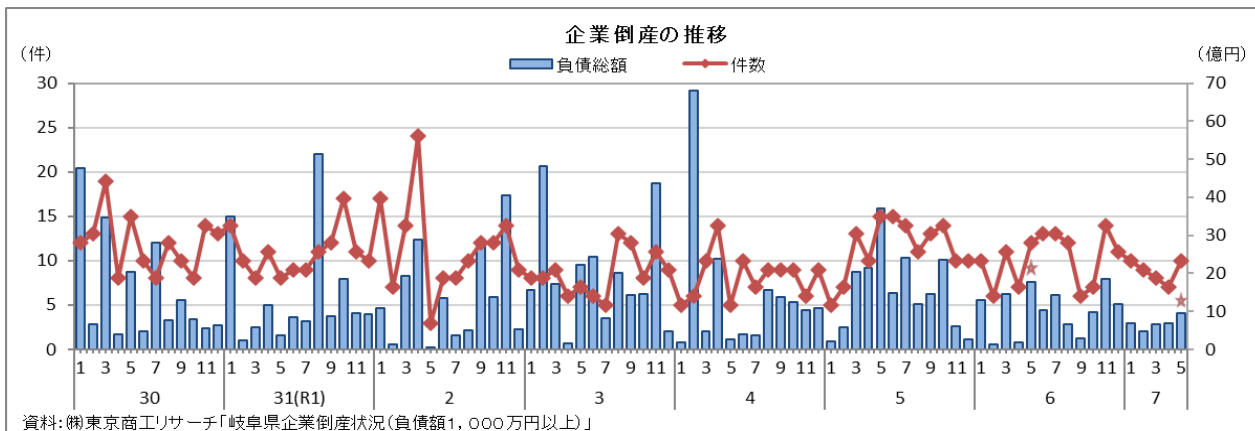


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○5月単月の倒産件数は10件、負債総額は前月比246百万円増加の943百万円となった。
○令和6年5月は負債総額1億円以上の倒産が5件発生したのに対して、令和7年5月は同倒産3件となった。負債総額は前年同月比▲907百万円となった。



専門機関の分析(東京商工リサーチ・7月22日時点)

◆ 経済情勢としては、トランプ関税政策により金融市場は動揺し、貿易摩擦は激しさを増しており、東海地区経済のみならず日本経済の屋台骨を支える自動車産業や、それに関連する鉄鋼や流通など幅広い産業に影響を与える懸念が高まっている。現状では日米の政府間交渉は合意に至らず、今後の方針を決めかねている企業は多い。国家間の交渉と共に企業との対話も重要になってきており、官民が連携して関税をめぐる諸問題に対応することが必要となってくる。

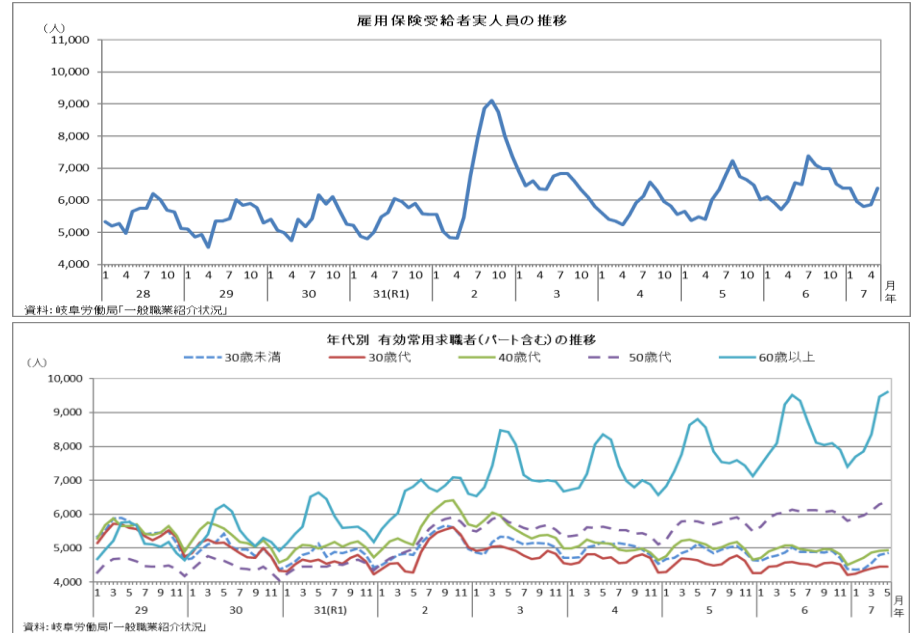
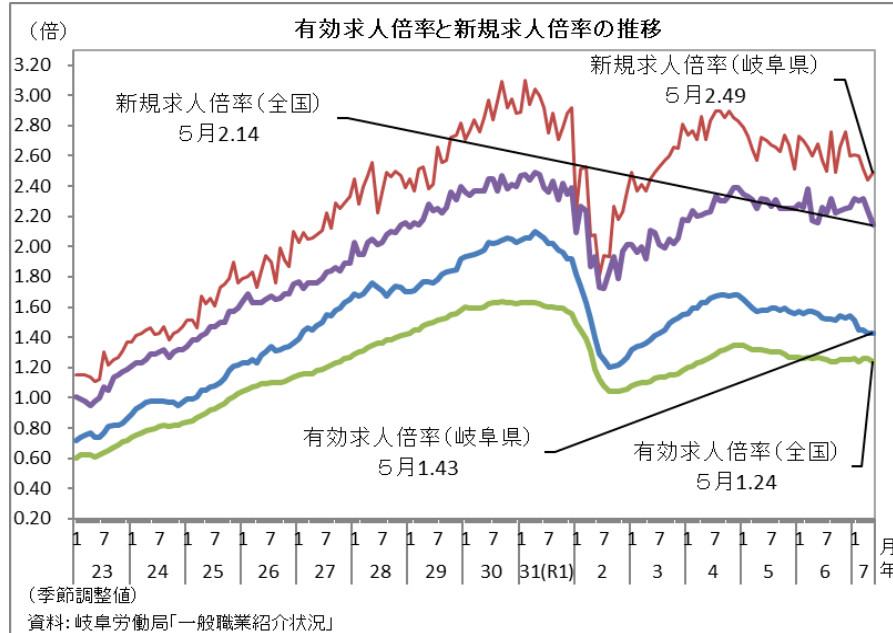
雇用

○5月の有効求人倍率は1.43倍と、前月比同率となった。

○5月の新規求人倍率は2.49倍と、前月比0.05ポイント上昇となった。

○5月の雇用保険受給者人員は、前月比9.0%増加となった。

○有効常用求職者は、50歳代では27ヶ月連続、60歳代では28ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 従業員満足度向上のために、ワークエンゲージメント評価を昨年度から実施している。(輸送用機械)
- ◆ 仕事の減少に併せて雇用を減らしているため、現状では人手が充足している状況。(輸送用機械)
- ◆ 受注減少により、期間満了時の特定技能者は人数分の入替を行わず、人員を調整している。(輸送用機械)
- ◆ 新卒採用でホワイトカラーの職場には応募があるが、生産現場の応募は難しい状況。(繊維・アパレル)
- ◆ 数年前は職人の応募が少なかったが最近は事務職の応募も少ない状況。(刃物)
- ◆ 従業員に休みやすい環境を作るため、多能工化に向けたジョブローテーションを進めている。(刃物)
- ◆ 小規模事業者で働くメリットは融通が利く点。当社では、60歳超のパートさんを継続雇用し、時給を上げている。(紙)

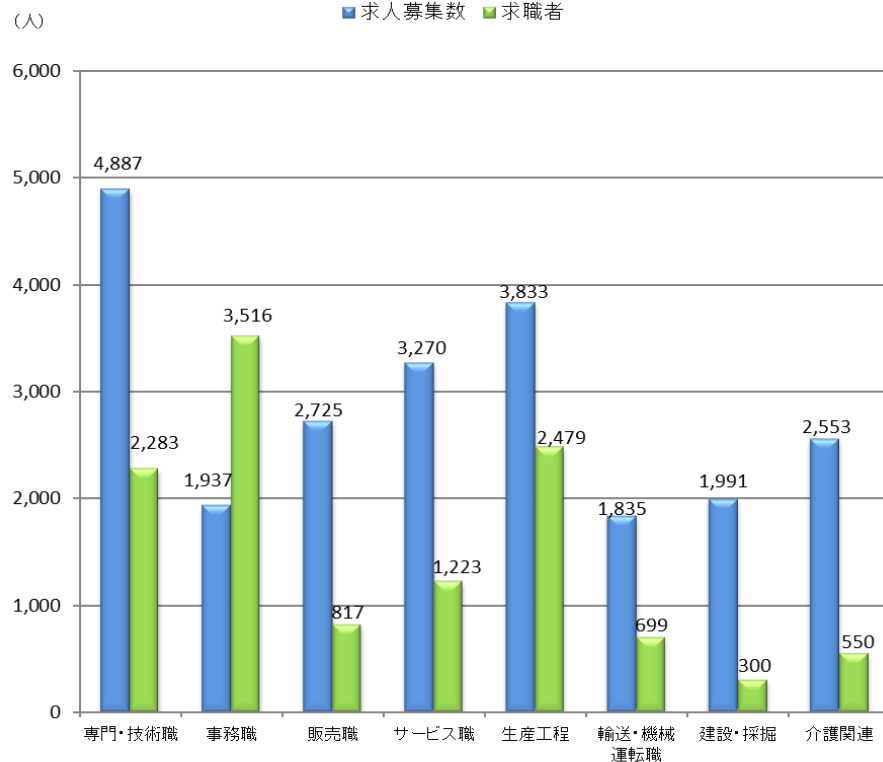
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で6.64倍、介護関連で4.64倍、販売職で3.34倍、サービス職で2.67倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.55倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

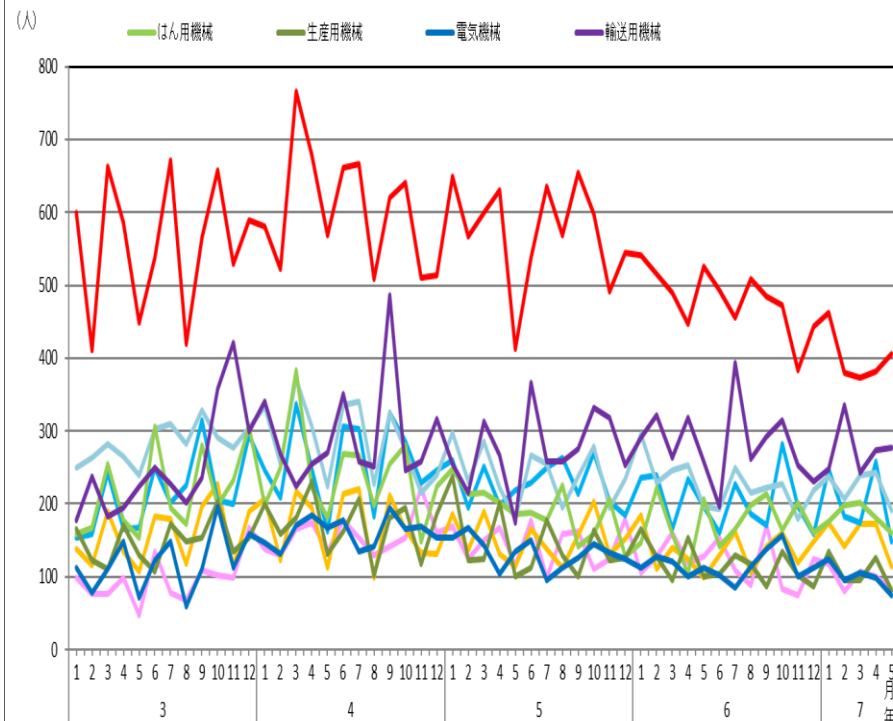
○2月の主要産業別の新規求人数は、プラスチック製品で前年同月比16.3%、輸送用機械で同7.4%増加した一方、繊維工業で▲34.4%、電気機械で同▲33.6%、窯業・土石で同▲24.0%、食料品製造で同▲22.8%、はん用で同▲22.7%、生産用機械で同▲18.8%、金属製品で同▲2.6%となった。

5月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

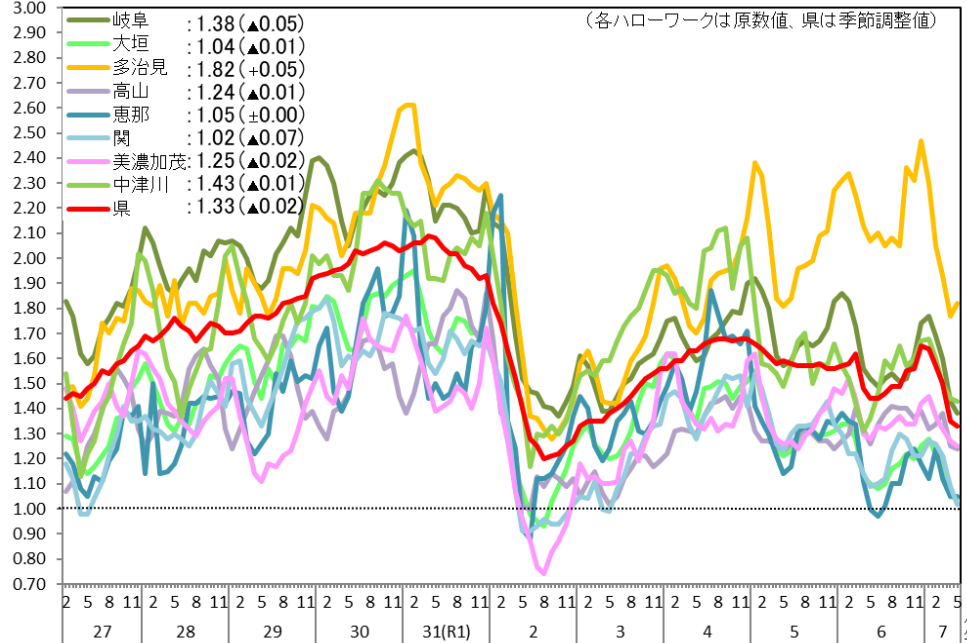
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

○4月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、多治見で前月比増加となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<窓口の様子>※前月比

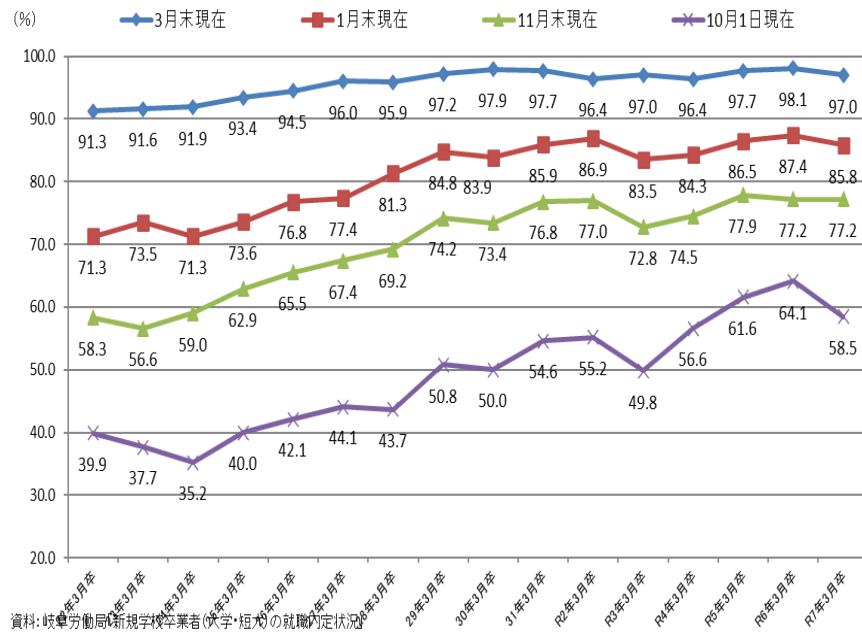
- ◆岐阜で混雑している、大垣でやや混雑している、恵那で同じくらい、多治見、高山、関、美濃加茂でやや空いている、中津川で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

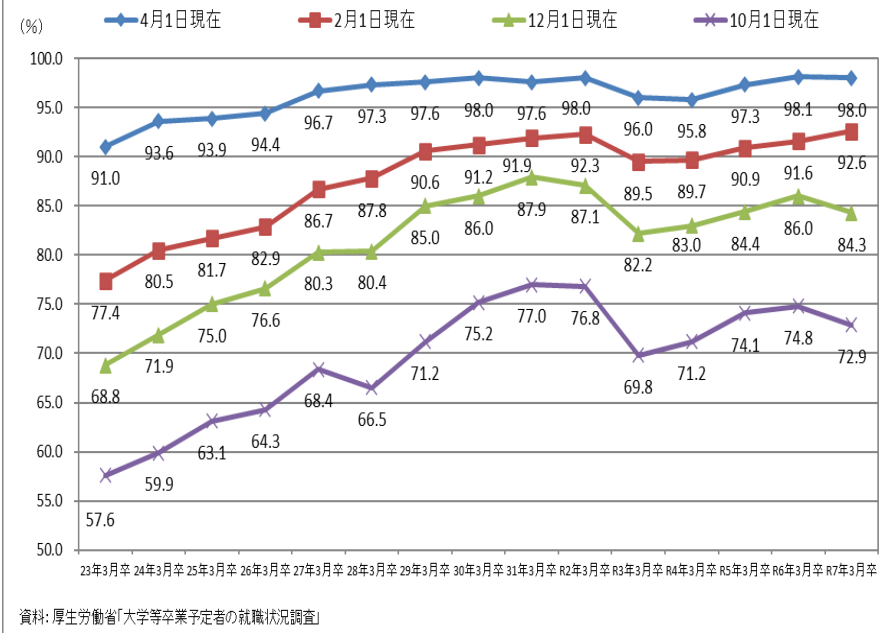
○岐阜県の令和7年3月末現在の大学・短大卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は、97.0%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月1日現在の大学卒業者(令和7年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

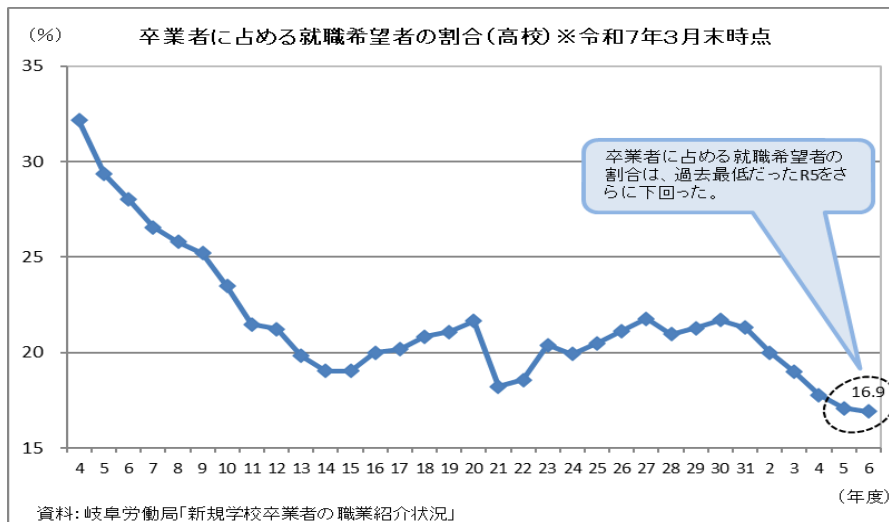
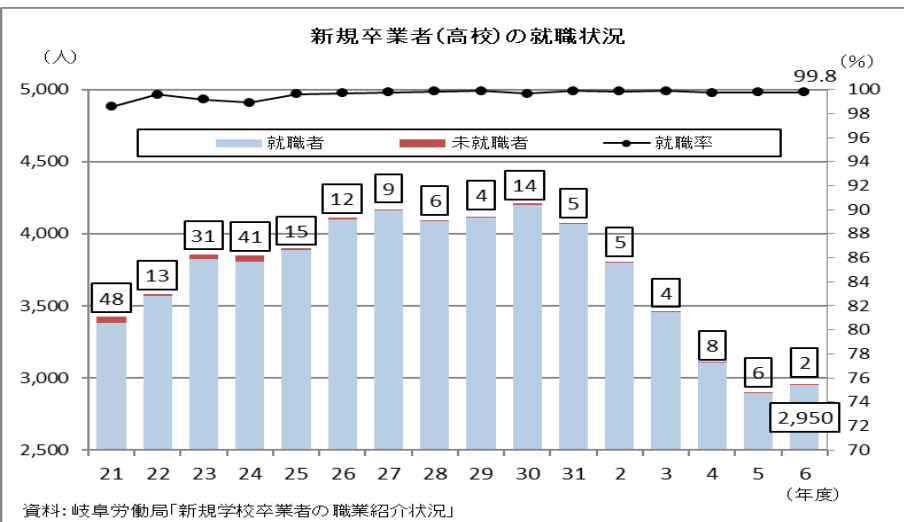
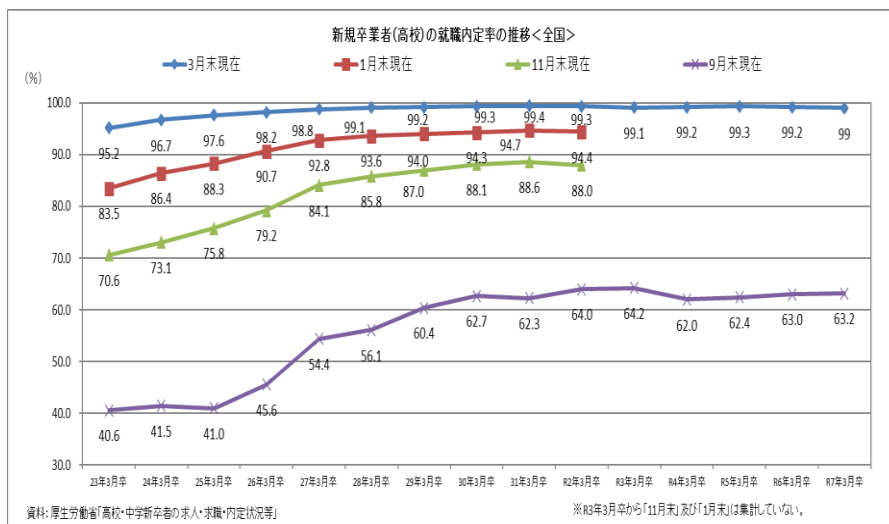
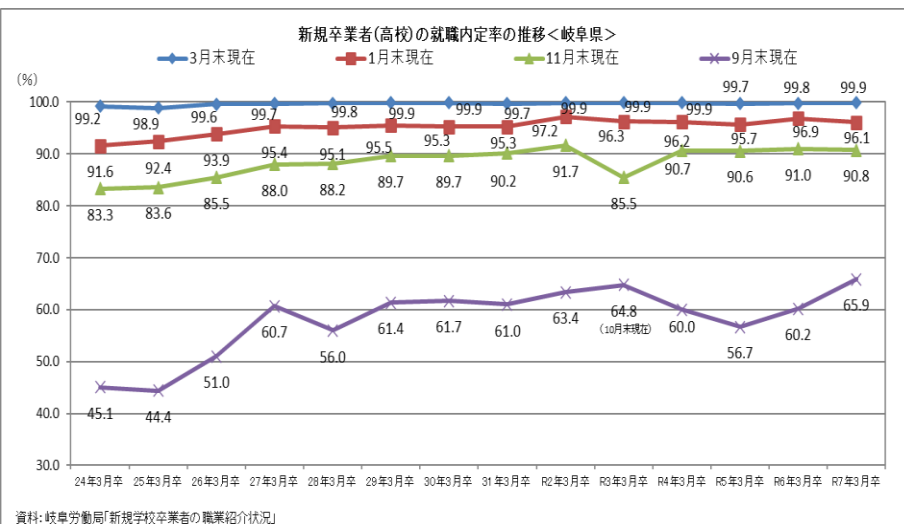
- ◆ 26年卒からの相談は減ってきている。企業に提出する書類の書き方に関する相談が多く、学生の6割ほどが内定を貰っている。
- ◆ 27年卒からの相談が増加してきた。インターンシップ先の選び方や、インターンシップ先へ提出するES、面接対策を行っている。
- ◆ インターンシップ先に関する講義の受講生は半数が2年生である。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和7年3月末現在の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月末時点の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.0%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントとなった。



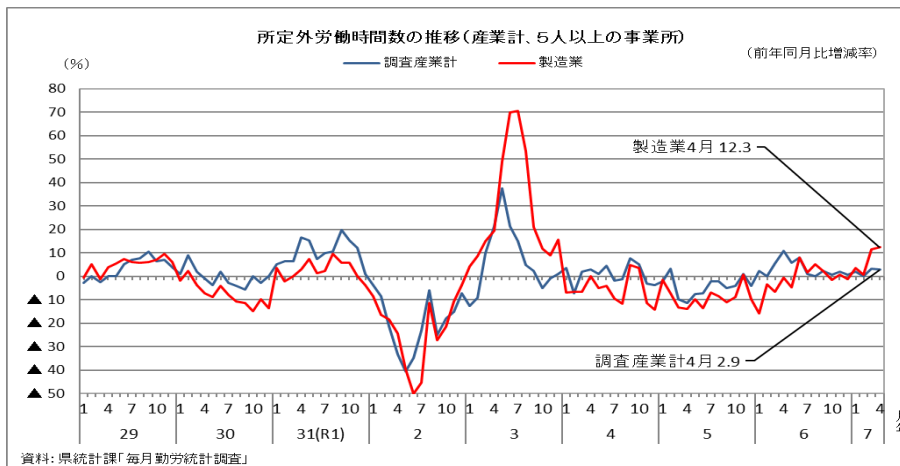
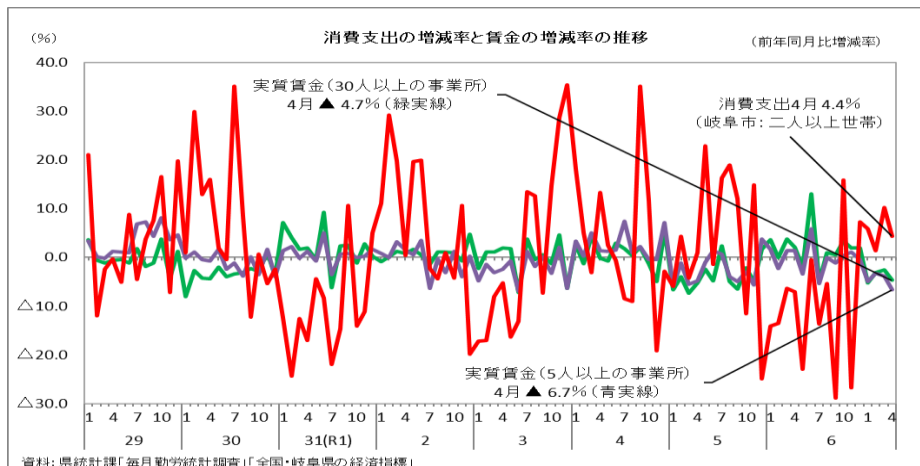
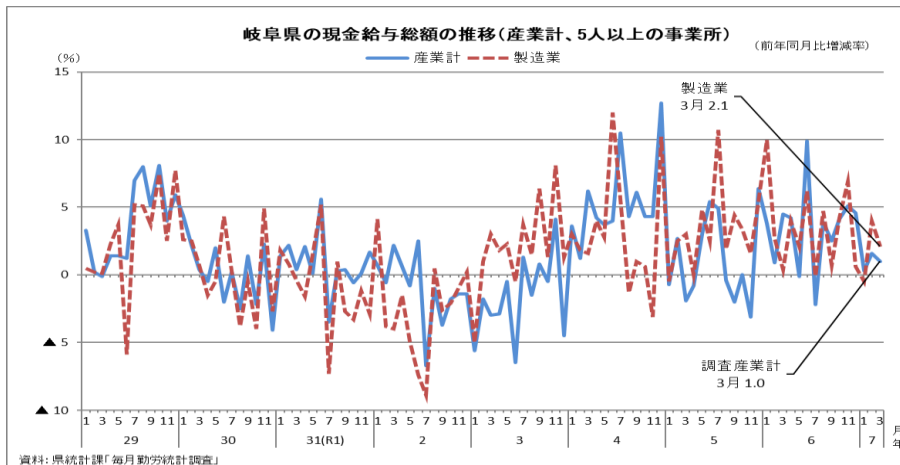
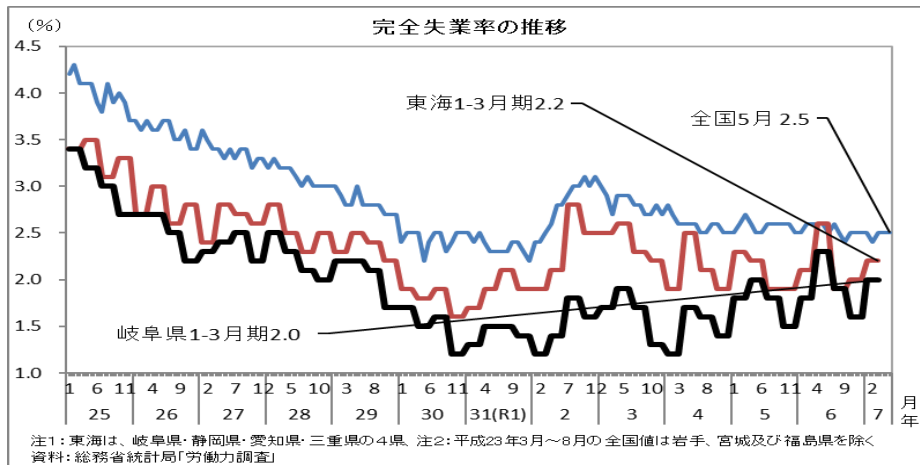
雇 用(完全失業率等)

○全国の5月の完全失業率は2.5%で前月同比となった。岐阜県の1-3月期の平均は2.0%で前期比0.4%上昇となった。

○4月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲2.2%、製造業で同▲2.7%となった。

○4月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲4.7%、5人以上で▲6.7%となった。3月の消費支出については同4.4%増加となった。

○4月の所定外労働時間数は前年同月比で2.9%増加となった。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、4月の鉱工業生産指数は前月比▲5.2%となった。ヒアリングでは、国内向けの自動車関連は少し伸びているとの声や、EV関連の新規案件の提案も受けており、現状を打破しようとする動きも出てきているとの声が聞かれる一方で、工作機械に関して「半導体需要が一段落」「ロボットも想定ほど需要がない」ことが原因で、今期決算は目標の7割ほどに留まったとの声が聞かれた。
- 地場産業は、4月の鉱工業生産指数は、木材・木製品、窯業・土石で上昇した。ヒアリングでは、物価高の影響を受けた衣料品の買い控えのため、特にファッション衣料の受注・生産が停滞しているとの声や、業界の景況感は二極化しているが、どちらかと言えば悪い方が多い印象との声が聞かれた。
- 設備投資は、5月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比3.4%増加となった。ヒアリングでは、設備の定期的な更新の中で、省力化や業務効率化のための設備導入を伴う案件も見られるとの声や、計画どおり省人化・無人化のために高額な設備を導入しても投資を回収できるだけの受注がないため、導入する設備のランクを下げる等、計画を再検討していかなければならないとの声が聞かれた。
- 個人消費は、5月の販売額は、全体で前年同月比2.8%増加となった。ヒアリングでは、生鮮食料品スーパー、物販、飲食部門ともに好調との声が聞かれる一方で、米をはじめ、食品や家庭用品の値上げで消費者マインドが冷え込んでおり、値段を見て断念するなど悪影響が出ているとの声が聞かれた。
- 観光は、宿泊者数はインバウンド客の増加等により、前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前と同程度まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、5月の制度融資実績は金額で10ヶ月連続で減少となった。資金需要について特段大きな動きは無く、運転・設備資金ともに底堅く例年通りとの声が聞かれた。
- 雇用面は、5月の有効求人倍率は1.43倍と前月比同率となった。ヒアリングでは、採用面については仕事が減っており、それに併せて雇用を減らしているため、現状では人手が充足している状況との声や、新卒採用でホワイトカラーの職場には応募があるが、生産現場の応募は難しい状況との声が聞かれた。待遇面については、従業員満足度向上のために、ワークエンゲージメント評価を昨年度から実施しているとの声や、従業員に休みやすい環境を作るため、多能工化を進めており、これまで担当でなかった工程も実施できるように、ジョブローテーションを進めているとの声が聞かれた。